


事務事業評価（主要事業レビュー）

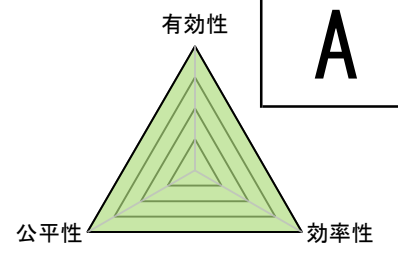
款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		救急救命士等研修訓練事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価	
	予算・決算額(A)	5,252	4,896	5,304			
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源	5,252	4,896			5,304
	人件費(B)	7,202	7,202	7,202			
事業費計(A+B)	12,454	12,098	12,506				
事業の目的		救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑な隊・車両の運用を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標		 <p>資格取得及び研修等により職務能力の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士養成 ・大型自動車運転資格者養成 ・大型特殊自動車運転資格者養成 					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		救急救命士養成	人	1	1	1	
		大型自動車運転資格者養成	人	5	5	5	
		大型特殊自動車運転資格者養成	人	1	1	1	
項目評価		高 → 低	評価の理由				
		4 3 2 1					
有効性		●				消防活動等に必要な資格者を養成し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。	
効率性		●				他の職員へも知識、技術を伝承することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。	
公平性		●				計画的な資格者の養成により市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		免許、資格を有する職員は、市民の安心・安全には欠かすことができず、今後も養成を継続したいと考えています。				事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							




事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 01常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		緊急消防援助隊合同訓練事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		消防法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性 公平性 効率性	総合評価 A			
	予算・決算額(A)		477	476			1,651		
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債							
		その他							
		一般財源	477	476			1,651		
	人件費(B)		7,202	7,202			7,202		
事業費計(A+B)		7,679	7,678	8,853					
事業の目的		緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標 		緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練（秋田県）							
実施結果 (活動指標)		指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
		緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練		回	1	1	1		
項目評価		高 → 低				評価の理由			
		4	3	2	1				
		有効性	●						技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、水災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られているため、「4」としました。
		効率性	●						部内で知識、技術の伝承をすることで、質の高い隊・車両の編成、運用を行っているため、「4」としました。
公平性	●				北海道、東北及び新潟を含めた8道県で年度ごとに持ち回りで実施し、大規模・特殊災害に、迅速かつ確な対応が出来るよう実施しているため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性		道内において日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震が想定されています。大地震を起因とする市街地火災、石油コンビナート火災、土砂災害、津波浸水等の複合的な災害から市民の安心・安全を守るために、計画的に訓練へ参加し、技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。				事業終了の 予定の有無			
特記事項		無							

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 02非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		消防団活性化事業		担当部署	消防本部 総務課						
根拠法令		消防法									
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価		総合評価				
	予算・決算額(A)	3,322	2,687	467			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div>				
	(A)の内訳	国道支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源	3,322	2,687				467			
	人件費(B)	2,161	2,161	2,161							
事業費計(A+B)	5,483	4,848	2,628								
事業の目的	地域防災力の向上のため、消防団員確保に向けた取組を進めるとともに、消防団活動の充実強化を図ります。										
事業の内容 SDGs17の目標 	<ol style="list-style-type: none"> 地域防災力の向上のため、大規模災害を想定した訓練に参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> 多数傷病者事故対応訓練 消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的とした訓練に参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> 胆振地方消防訓練大会（安平町） のぼりを作成及び各種イベントに参加し、消防団への入団を促進しました。 <ul style="list-style-type: none"> 春の火災予防運動期間中の大型商業施設 第41回とまこまいマラソン大会 2024たるまえサンフェスティバル 備えるフェスタ2024inとまこまい 										
実施結果 (活動指標)	指標名			単位	R4年度	R5年度	R6年度				
	多数傷病者事故対応訓練			回	1	1	1				
	苫小牧市総合防災訓練			回	-	1	-				
	胆振地方消防訓練大会			回	-	-	1				
項目評価	高 → 低				評価の理由						
	4	3	2	1							
	有効性	●							入団促進により、団員数が増加しているため、「4」としました。		
	効率性	●							消防団員の人件費が事業費の大半を占めており、必要最低限の経費で事業を実施しているため、「4」としました。		
公平性	●				多数傷病者事故は市内全域で発生の可能性があり、有事の際の迅速な対応につながるため、「4」としました。						
事業の課題 今後の方向性	他機関との合同訓練を実施することにより、消防技術の向上と士気の高揚を図ることができました。今後も地域防災の中核を担う消防団への入団促進を図り、地域防災力の向上と消防団活動の充実強化につながる取組を実施したいと考えています。						事業終了の 予定の有無				
							無				
特記事項											

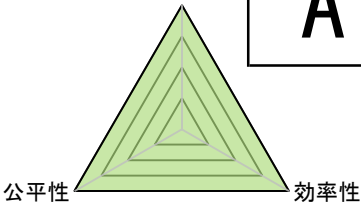

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		消防施設・装備等整備事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性  公平性 効率性	総合評価 A	
	予算・決算額(A)	107,886	106,394	78,946			
	(A)の内訳	国道支出金	93,300	91,300			24,400
		地方債					28,700
		その他					
		一般財源	14,586	15,094			25,846
	人件費(B)	10,803	10,803	10,803			
	事業費計(A+B)	118,689	117,197	89,749			
事業の目的	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資器材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。						
事業の内容 SDGs17の目標 	<p>各種計画に基づき老朽化した施設、設備、資器材、消防水利等の整備を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火栓の新設 ・防火水槽の新設 ・消防用ホースの購入 ・高度救急処置シミュレーターの更新 ・高度救命処置用資器材の更新 ・自動体外式除細動器の更新 ・感染対策用備蓄資器材の購入 ・大口径ホースの更新 ・化学防護服の更新 						
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度	
	防火水槽の新設		基	1	1	1	
	消防用ホースの購入		本	114	110	105	
	消火栓の新設		基	6	6	5	
項目評価	高 → 低		評価の理由				
	4	3	2	1			
	有効性	●			消防活動等に必要な施設・装備等を更新し、強固な消防体制の運用を図っているため、「4」としました。		
	効率性	●			最新の施設・装備等を導入することにより、効率的な消防活動等を行うことができているため、「4」としました。		
公平性	●			計画的な施設・装備等の更新により、市民の安心・安全を図ることができるため、「4」としました。			
事業の課題 今後の方向性	老朽化した施設・装備等の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、事業の有効性は高いと考えています。今後も各種計画に基づき施設・装備等を更新し、消防体制の維持、強化を図りたいと考えています。					事業終了の 予定の有無	
						無	
特記事項							

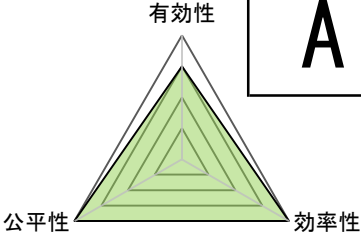

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		消防車両整備事業		担当部署	消防本部 総務課			
根拠法令		消防法						
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価		
	予算・決算額(A)	28,855	28,837	125,754				<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>
	(A)の内訳							
	国道支出金	26,300	28,300	103,200				
	地方債							
	その他							
	一般財源	2,555	537	22,554				
	人件費(B)	7,202	7,202	7,202				
事業費計(A+B)	36,057	36,039	132,956					
事業の目的	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した車両を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。							
事業の内容 SDGs17の目標	 <p>導入から13年以上が経過し、老朽化の著しい車両を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・末広出張所に配備している査察自動車（平成17年式）の更新 ・消防本部に配備している指揮支援車（平成23年式）の更新 ・消防本部に配備している広報車（平成22年式）の更新 							
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度		
	査察車両の更新		台	1	1	1		
	指揮支援車の更新		台	0	1	1		
	広報車の更新		台	0	0	1		
項目評価	高 → 低		評価の理由					
	4	3	2	1				
	有効性		●		大型車両のシャシ製造が不透明な状況でしたが、別の老朽化した車両を更新することで、消防体制が維持され、火災危険の抑制や災害発生時の被害の軽減が図られているため、「3」としました。			
	効率性	●			車両を更新することにより、車両運用の効率を図ることができているため、「4」としました。			
公平性	●			計画的な車両の更新により、市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	老朽化した車両の更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することができ、費用に見合った効果を得ていると考えています。改正された道路運送車両の保安基準に適合する大型車両のシャシが安定製造され始めており、大型車両を中心に今後も計画的な更新を図りたいと考えています。					事業終了の 予定の有無		
						無		
特記事項								

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		東胆振消防指令業務共同運用事業		担当部署	消防本部 総務課				
根拠法令		地方自治法 消防法							
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価	総合評価			
	予算・決算額(A)	55,967	55,616	2,199,604				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; font-size: 2em; text-align: center;">A</div>	
	(A)の内訳	国道支出金							
		地方債	34,500	34,500					945,400
		その他	20,856	20,857					1,254,134
		一般財源	611	259					70
	人件費(B)	21,606	21,606	21,606					
	事業費計(A+B)	77,573	77,222	2,221,210					
事業の目的	東胆振 1 市 4 町における消防体制の維持・強化のため、共同指令センターを構築し市民サービスの向上を図ります。								
事業の内容	<p>SDGs17の目標</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナリプで目標を達成しよう</p> </div> </div> <p>共同指令センター構築業務契約を締結し、令和6年度業務として下記を完了しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防救急デジタル無線電波伝搬調査 ・各通信指令装置の詳細設計及び据付調整設計業務 ・仮眠室増設 								
実施結果 (活動指標)	指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			
項目評価	高 → 低		評価の理由						
	4	3	2	1					
有効性	●				指令員を増員し専従化することで、指令業務が高度化され、より迅速で的確な対応が可能となるため、「4」としました。				
効率性	●				単独整備と比較して整備費等の削減が図られているため、「4」としました。				
公平性	●				市民全員に有益なため、「4」としました。				
事業の課題 今後の方向性	契約締結した共同指令センター構築業務を進め、東胆振 1 市 4 町における消防指令業務共同運用の令和8年4月運用開始に向け取り組みます。					事業終了の 予定の有無 有 (令和7年度)			
特記事項									

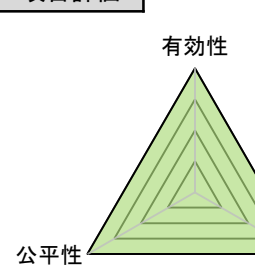

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010304

事業名		消防車両保安整備事業		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性  公平性 効率性	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		37,257	37,257			-
	(A)の内訳	国道支出金	8,000	8,000			
		地方債					
		その他					
	一般財源		29,257	29,257			
	人件費(B)		7,202	7,202			-
事業費計(A+B)		44,459	44,459	-			
事業の目的		災害時等における消防活動の充実強化を図るため、オーバーホールを実施し、消防体制の維持、強化を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>導入から7年目を迎えるはしご付消防自動車のオーバーホールを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新富出張所に配備しているはしご付消防自動車のオーバーホール 					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		はしご付消防自動車のオーバーホール	台	0	0	1	
項目評価		高 → 低 4 3 2 1		評価の理由			
有効性		●				オーバーホールを実施することにより、消防体制の維持、強化を図ることができるため、「4」としました。	
効率性		●				車両性能の低下を未然に防ぐことにより、効率的な消防活動を行うことができるため、「4」としました。	
公平性		●				高層建築物における災害対応力の維持を図ることができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		項目評価のとおり目的に沿った事業を実施しました。今後も車両の整備基準に基づき消防体制の維持、強化を図りたいと考えています。				事業終了の 予定の有無 有 (令和6年度)	
特記事項		オーバーホール時のみの事業となります。令和7年度は事業予定がありません。					

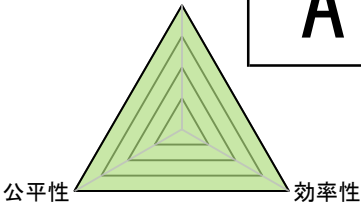

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 09消防費

項 01消防費

目 03消防施設費

事務事業番号 09010305

事業名		救急車両整備事業【繰越明許】		担当部署	消防本部 総務課		
根拠法令		消防法					
予算・決算 (千円)	区分	R6年度予算	R6年度決算	R7年度当初予算	項目評価 有効性  公平性 効率性	総合評価 A	
	予算・決算額(A)		34,627	1,452			-
	(A)の内訳	国道支出金					
		地方債					
		その他	33,000	1,452			
		一般財源	1,627				
	人件費(B)		7,202	7,202			-
事業費計(A+B)		41,829	8,654	-			
事業の目的		災害時等における救急活動の充実強化を図るため、高規格救急自動車を導入し、救急体制の維持、強化を図ります。					
事業の内容 SDGs17の目標 		<p>消防施設費指定寄附金を活用し、高規格救急自動車購入の契約を締結しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄附者の意向により、高規格救急車を令和7年末までに導入 					
実施結果 (活動指標)		指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度	
		高規格救急自動車の購入	台	1	0	0	
項目評価		高 → 低 4 3 2 1		評価の理由			
有効性		●				車両を導入することにより、救急体制が強化されているため、「4」としました。	
効率性		●				点検等による車両の運休が減少し、車両運用の効率を図ることができるため、「4」としました。	
公平性		●				市民の安心・安全を確保することができるため、「4」としました。	
事業の課題 今後の方向性		増加傾向である救急要請に対応するため、今後も計画的な更新を図りたいと考えています。				事業終了の 予定の有無 有 (令和6年度)	
特記事項							